

「地域の茶の間」実態把握調査結果 運営ボランティア代表 <全体>

魚沼市社会福祉協議会

(1) 調査の目的

魚沼市社会福祉協議会では、「地域の茶の間」の現状及び課題などについて、茶の間運営ボランティア代表者を対象に、茶の間活動上での課題や茶の間参加後の変化、支援要望等を把握するとともに、今後、茶の間代表者が安心して茶の間活動ができ、また参加者も意欲的に茶の間に参加できるような地域社会づくりに役立てることを目的として、アンケート調査及びデータの整理を実施しました。

(2) 調査の概要

調査対象：市内「地域の茶の間」運営ボランティア代表者

調査人数：68人

調査方法：郵送配付・郵送回収

調査時期：平成29年5月(24日間)

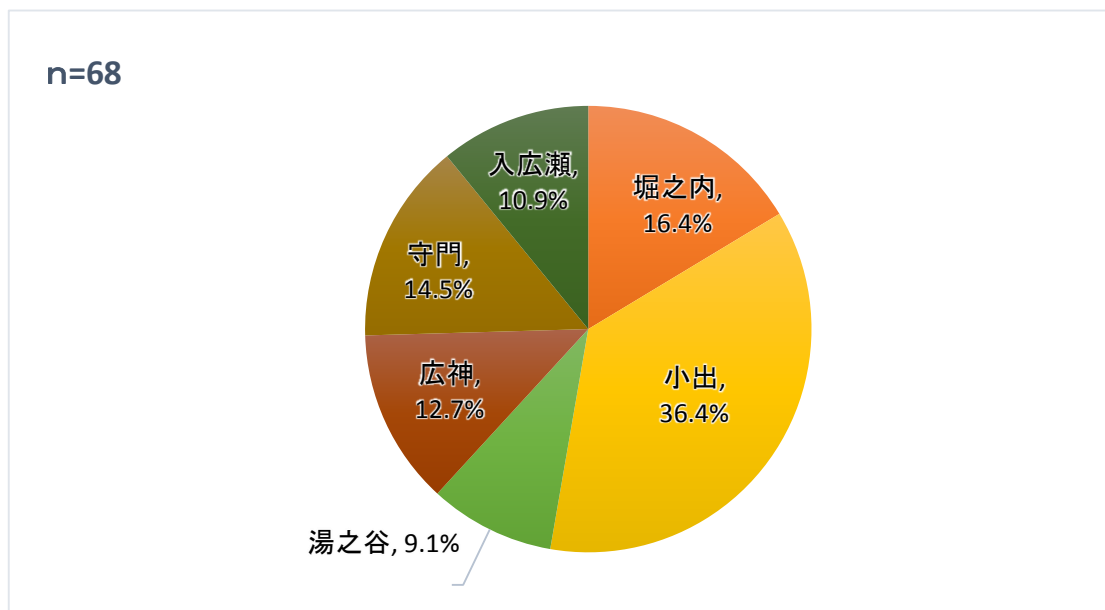
回収率：81%

(3) その他

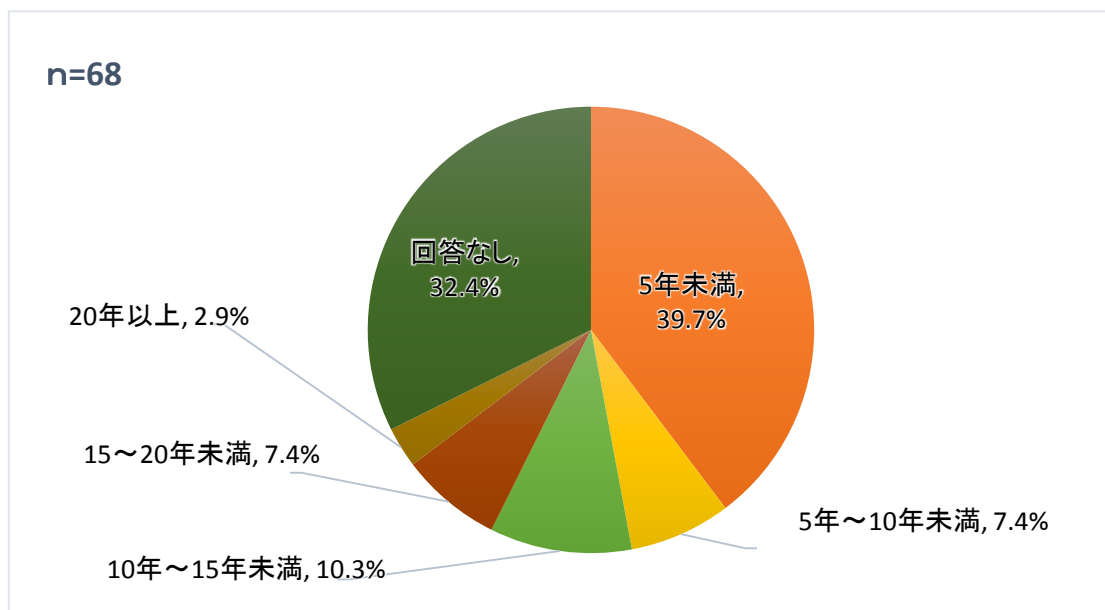
その他の回答や自由意見について、回答者が特定されるものは加工しました。

問1 茶の間の概要

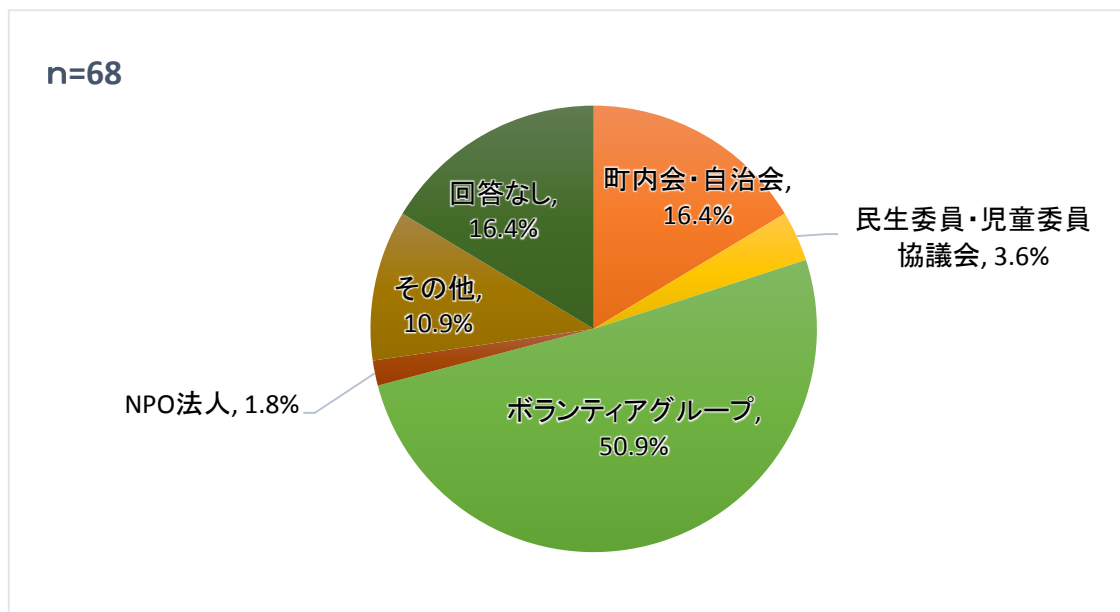
①開催地域



②茶の間の開催年月



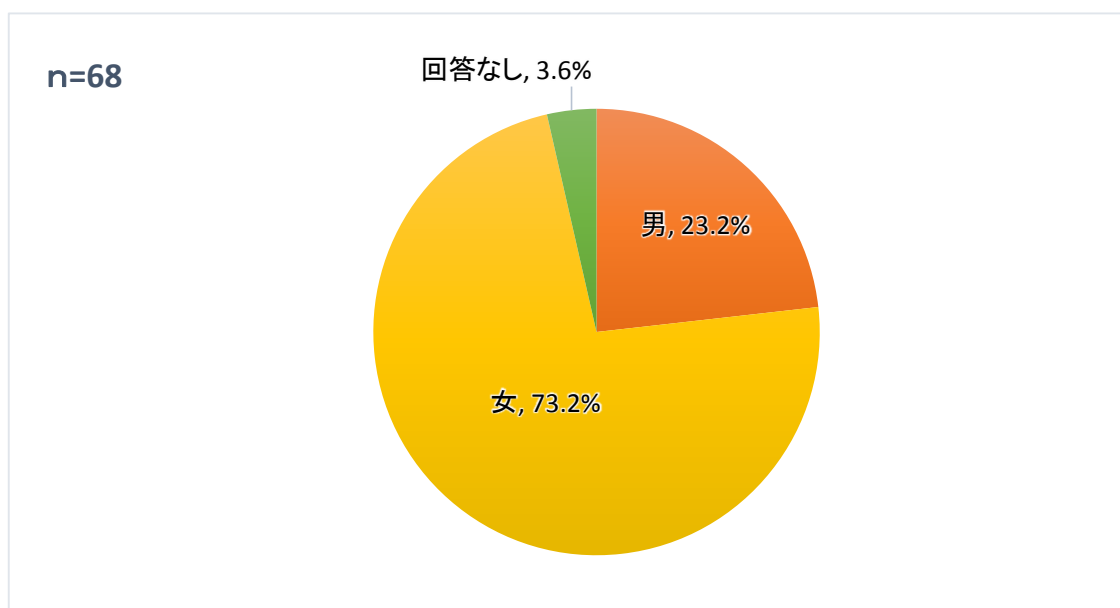
③茶の間の運営母体



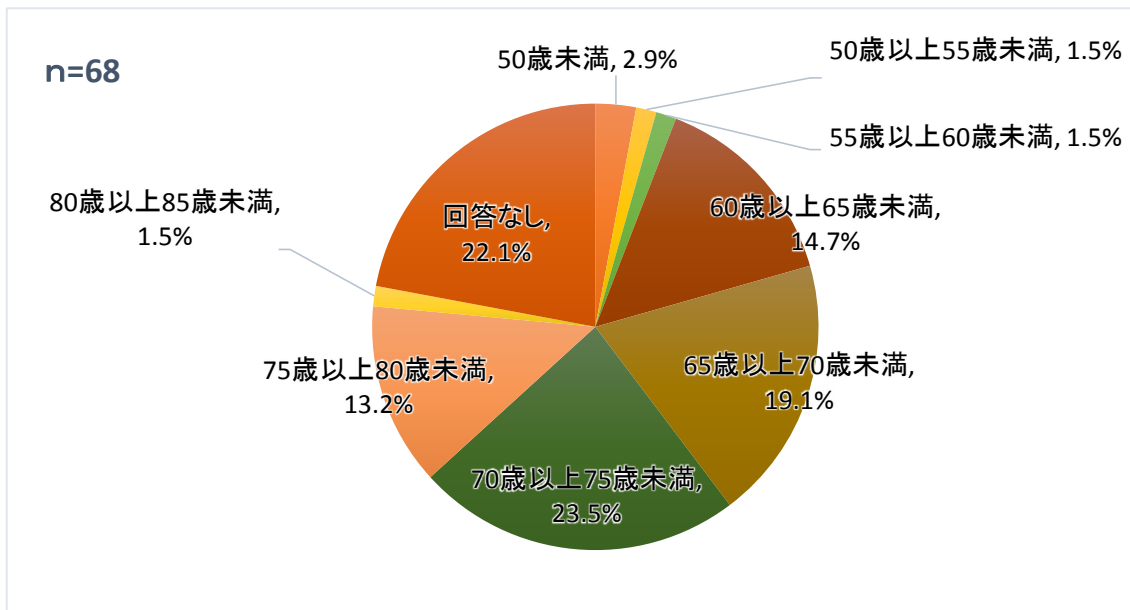
【その他】

・世話人会
・有志で始め町内会から助成金を受けた
・老人会
・老人クラブ三役が主
・老人会婦人部
・老人クラブ

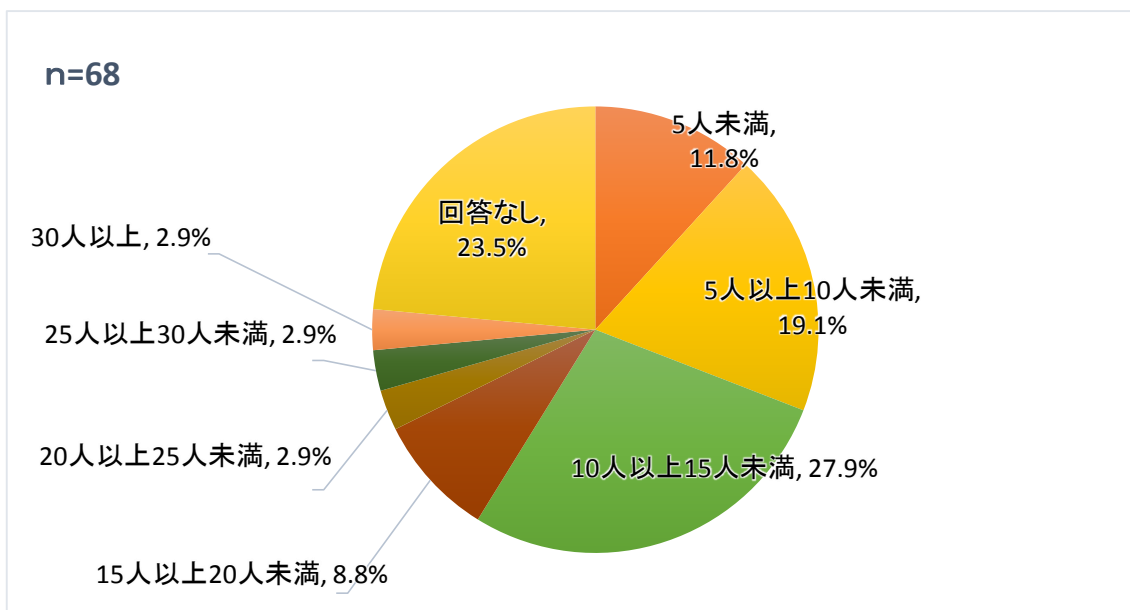
④代表者の性別



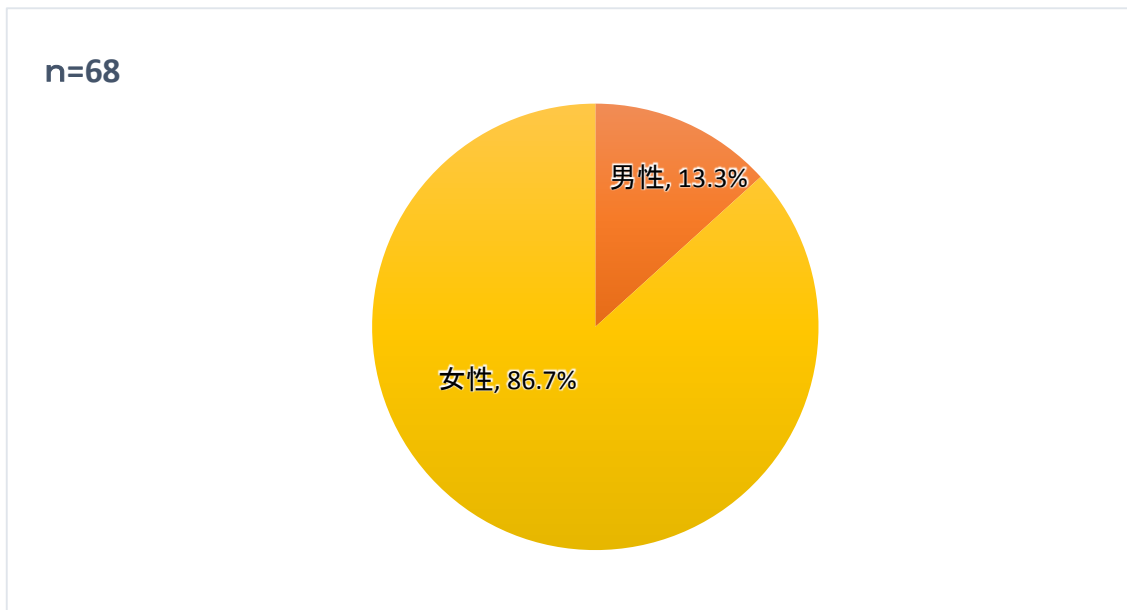
⑤代表者の年齢



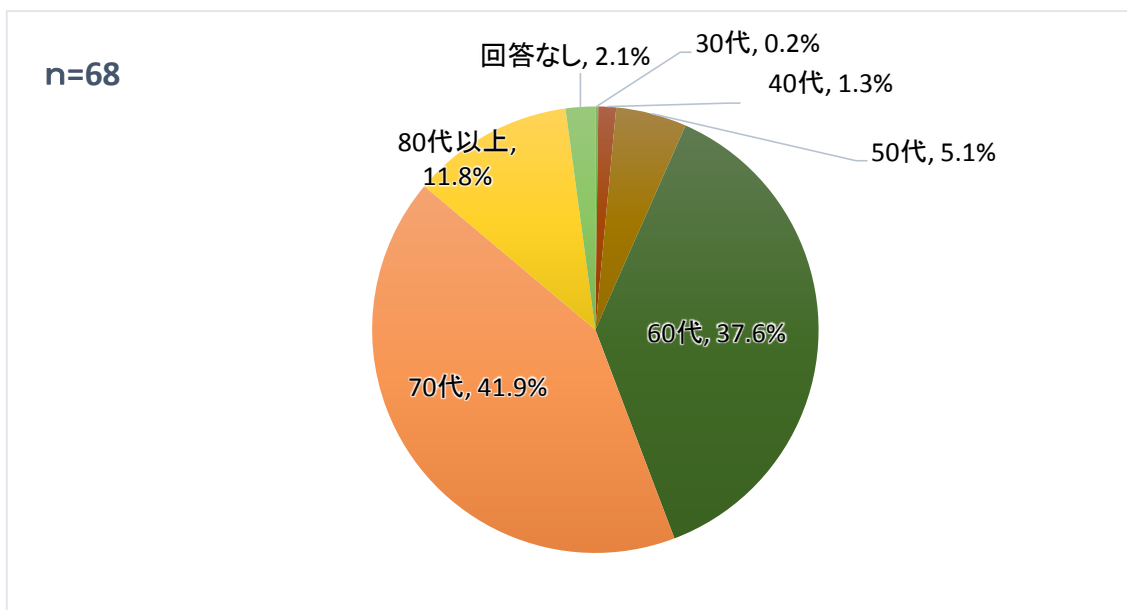
⑥ボランティアの人数



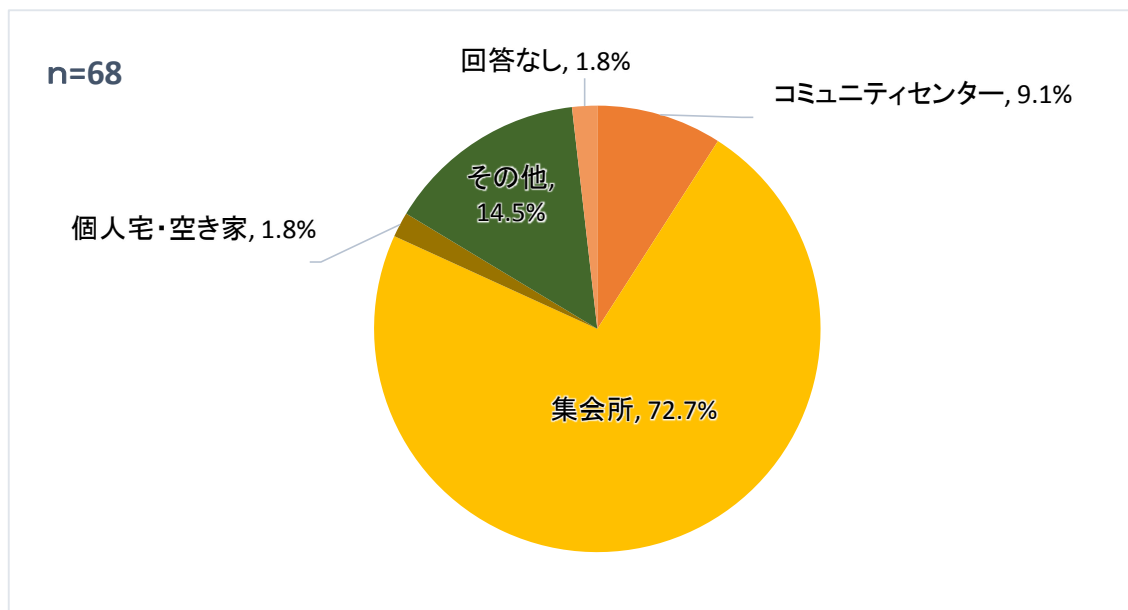
⑦ボランティアの男女内訳



⑧ボランティアの年齢構成



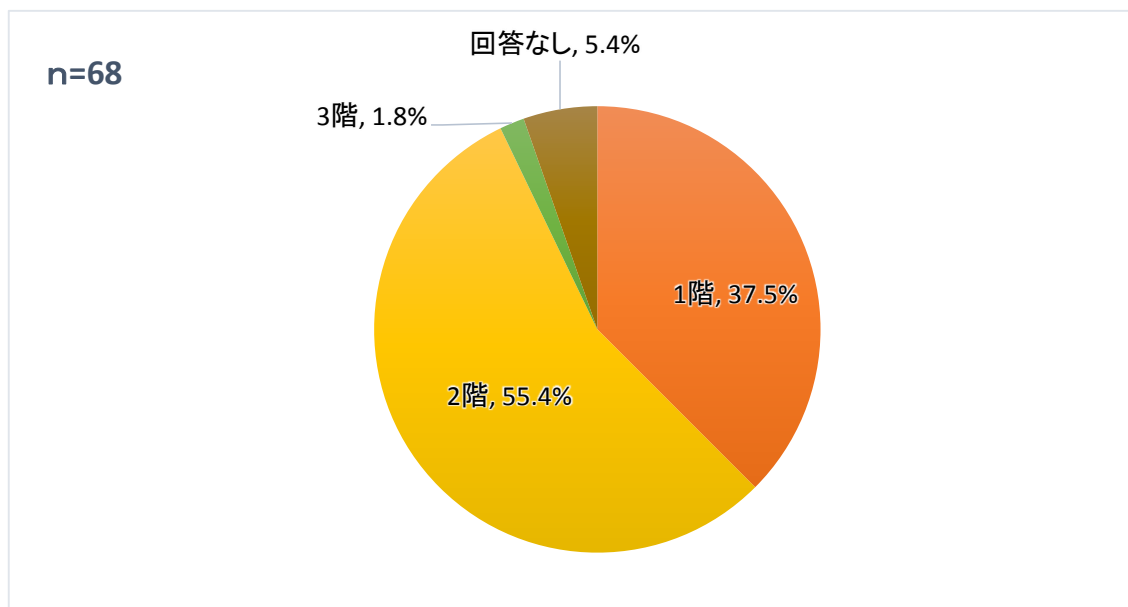
⑨茶の間の開催場所



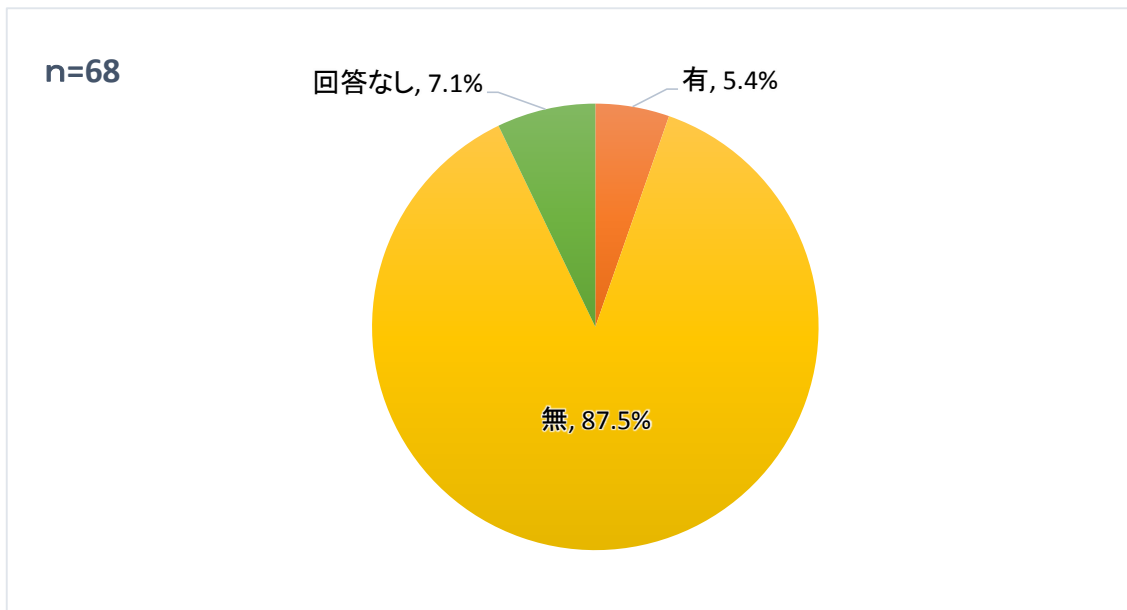
【その他】

・ボランティアセンター 3
・法人所有
・公民館
・マレットゴルフ場
・まちの駅

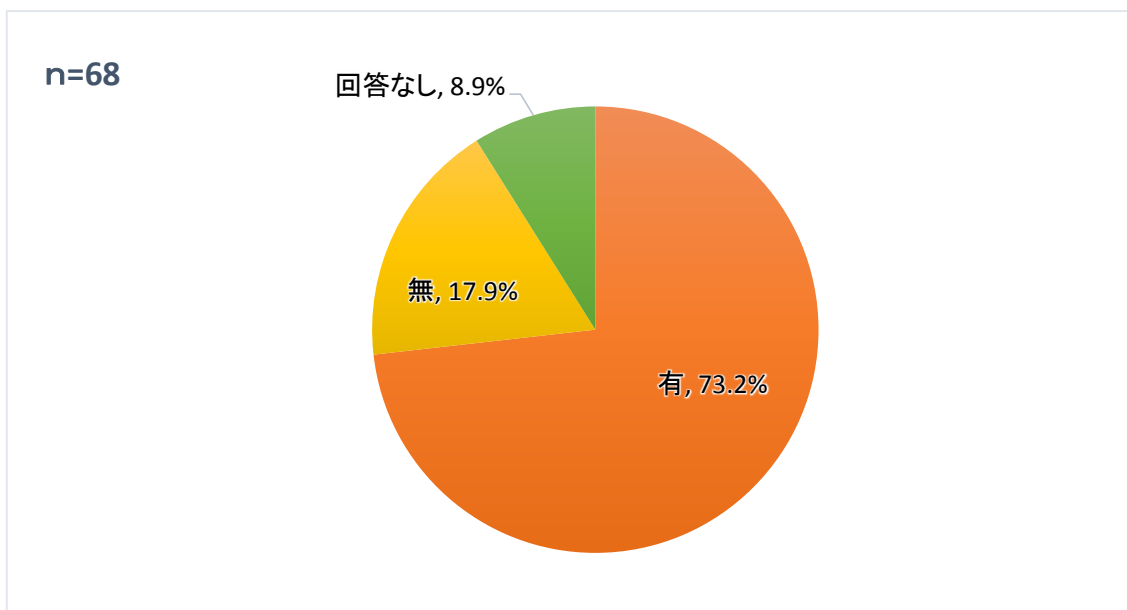
⑩茶の間の会場がある階数



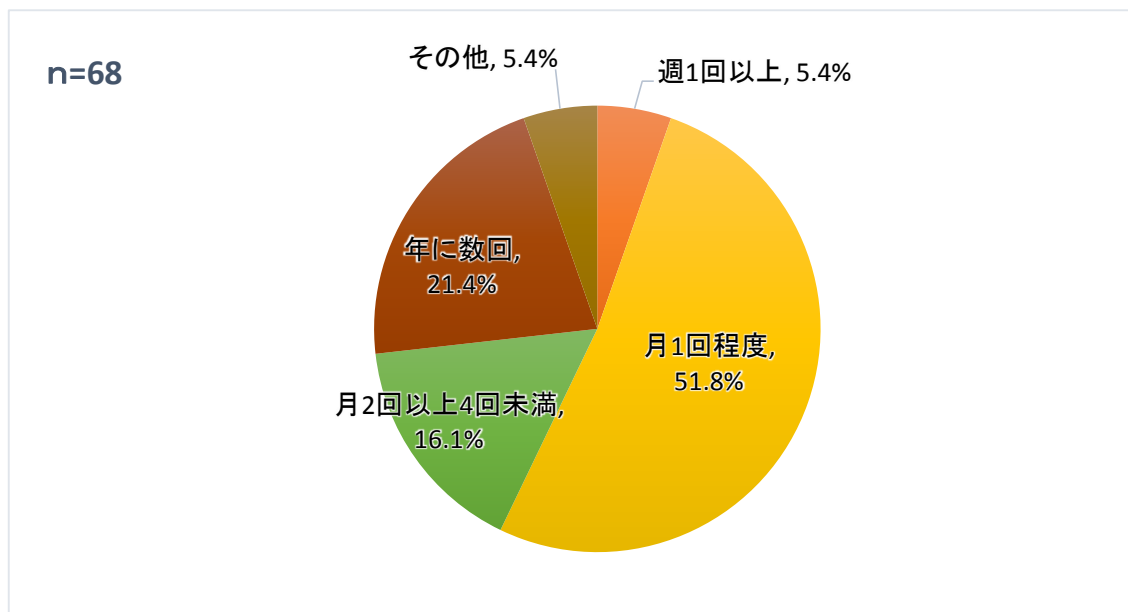
⑪エレベーターの有無



⑫洋式トイレの有無



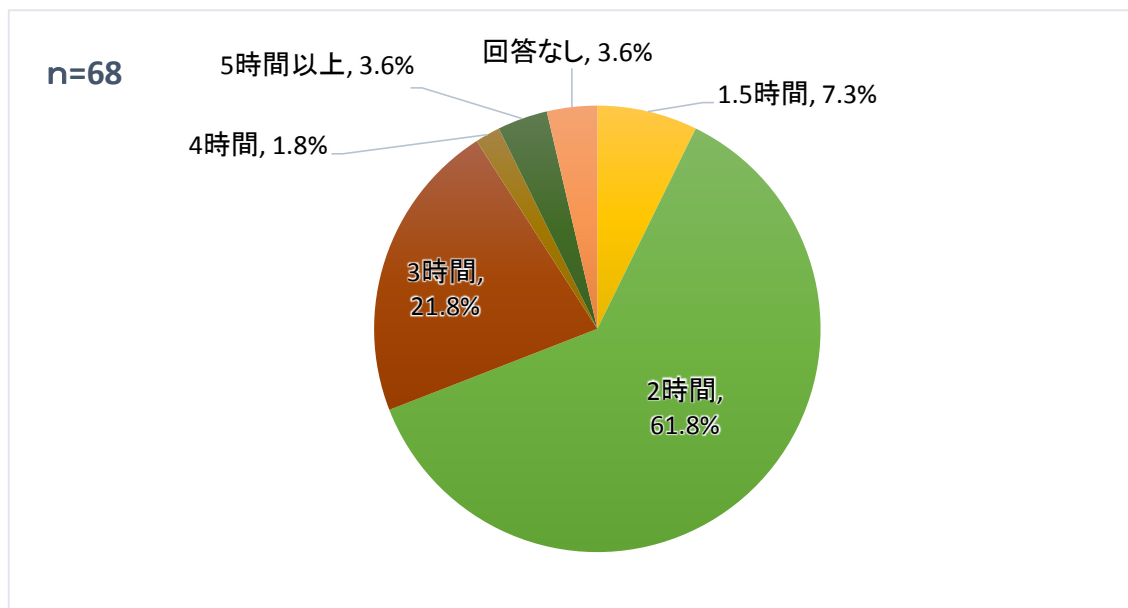
⑬茶の間の開催頻度



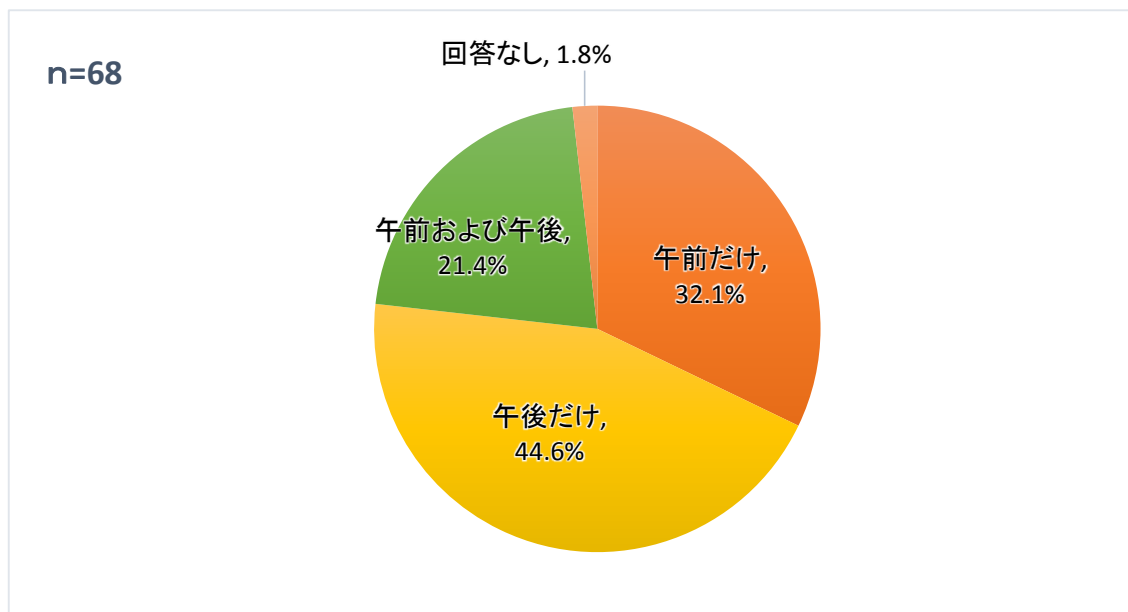
【その他】

- | |
|------|
| ・偶数月 |
| ・8回 |
| ・年6回 |

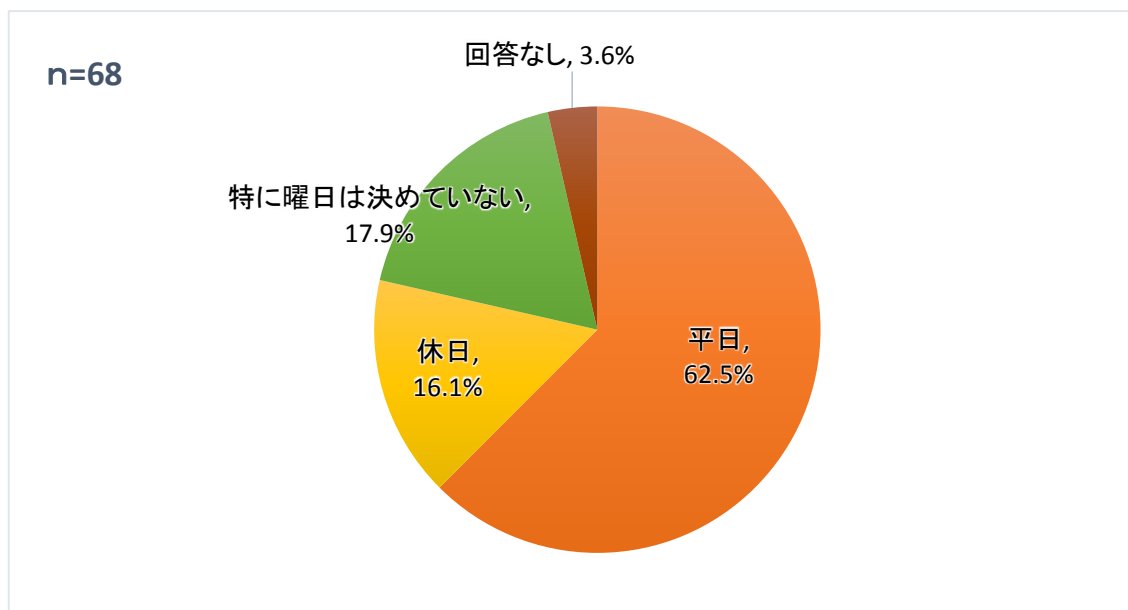
⑭1回あたりの所要時間



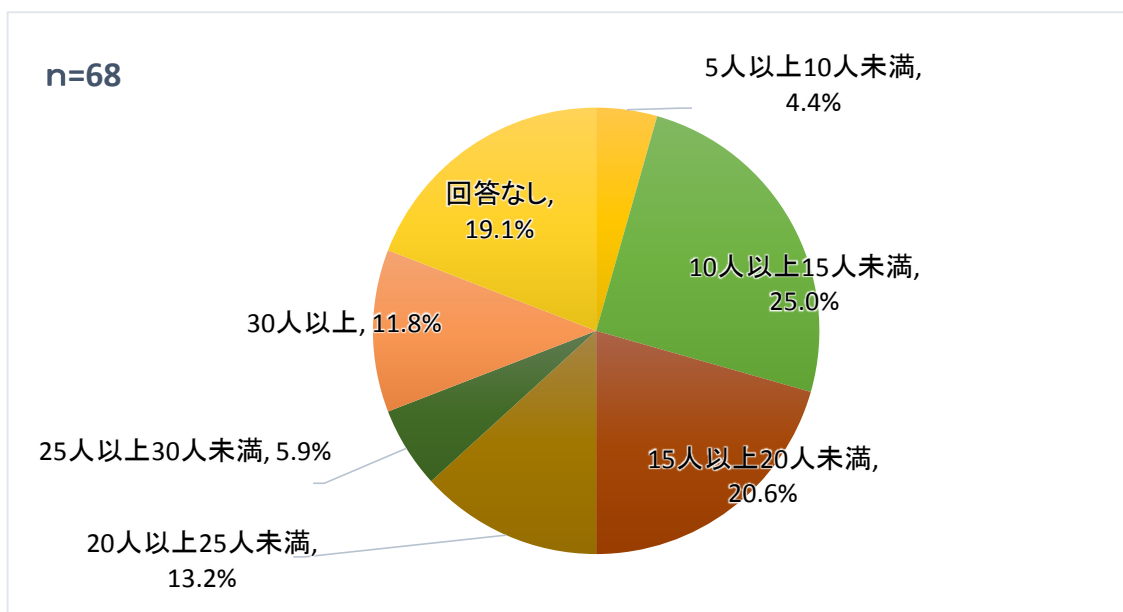
⑮活動する時間帯



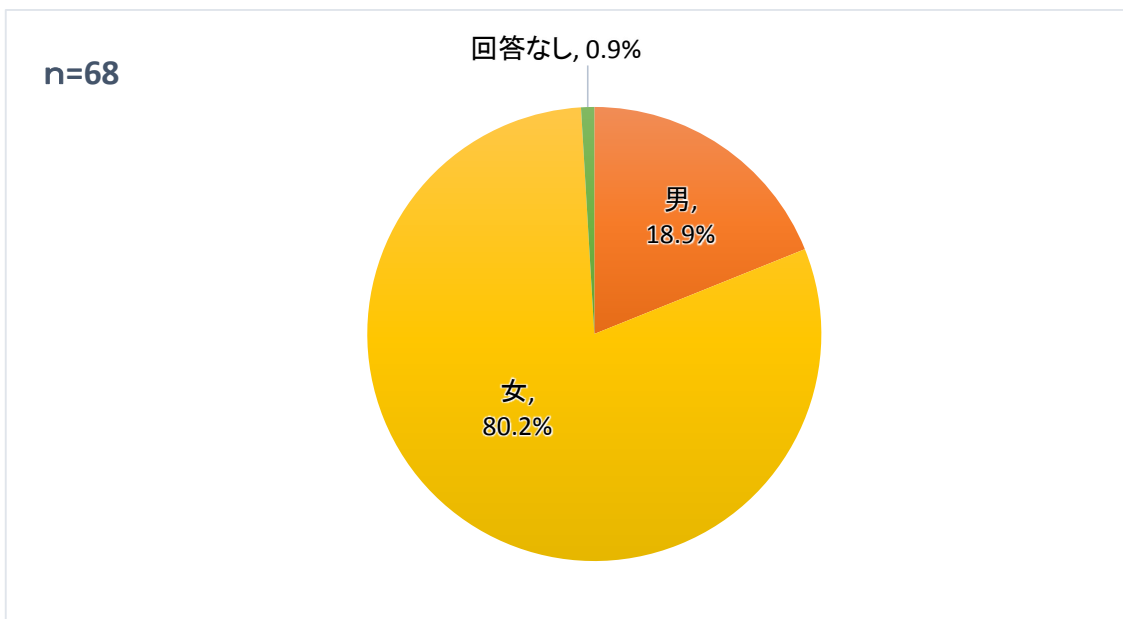
⑯活動する曜日



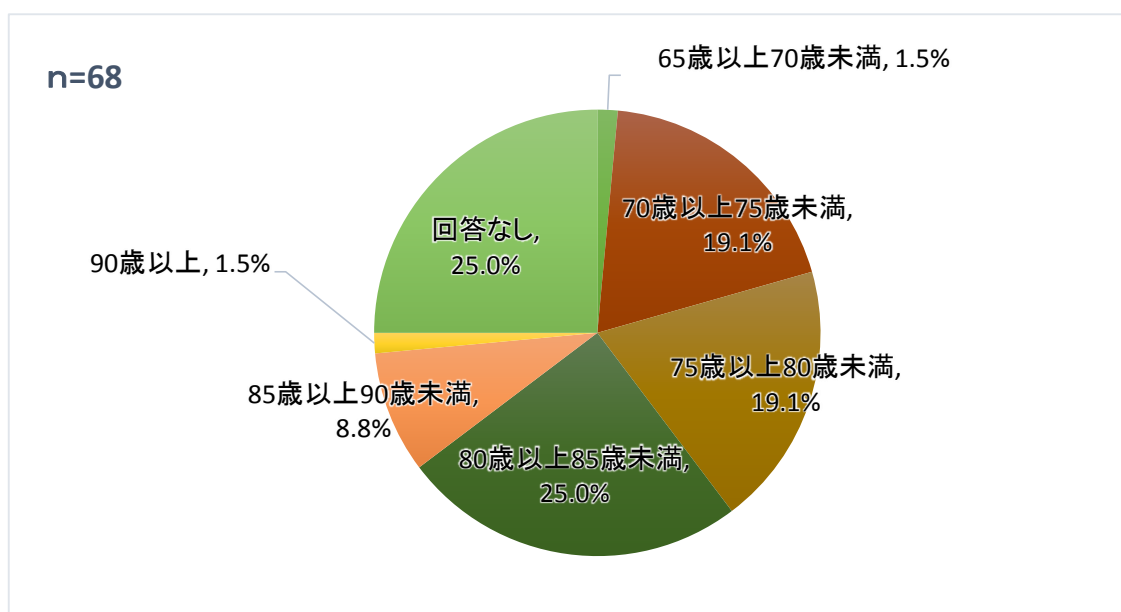
⑰ 茶の間一回あたりの参加人数



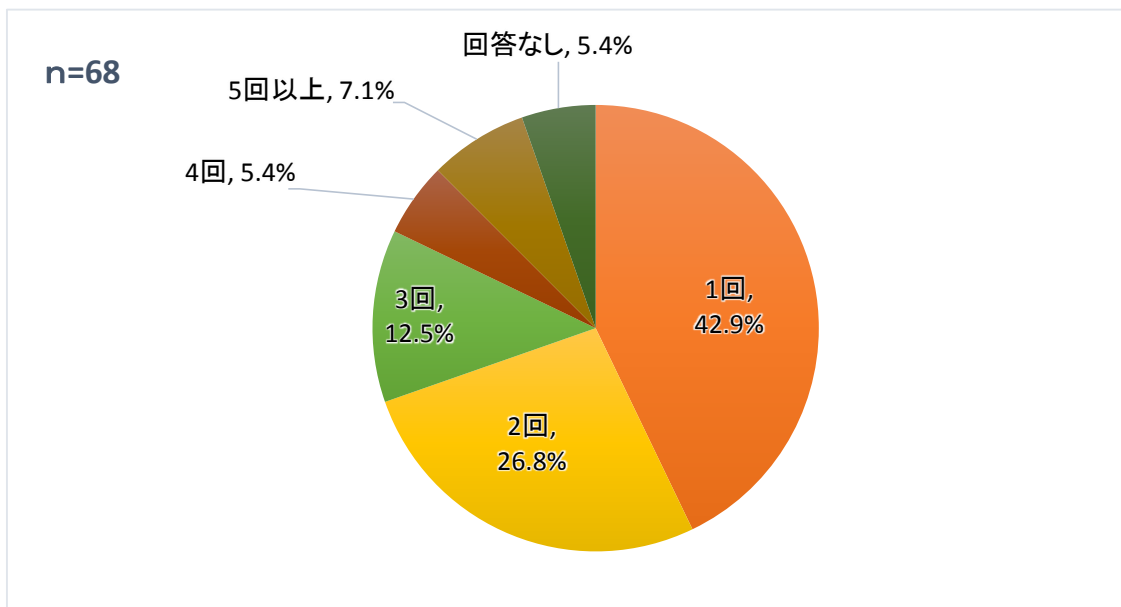
問2 茶の間の参加者の男女比を教えてください。



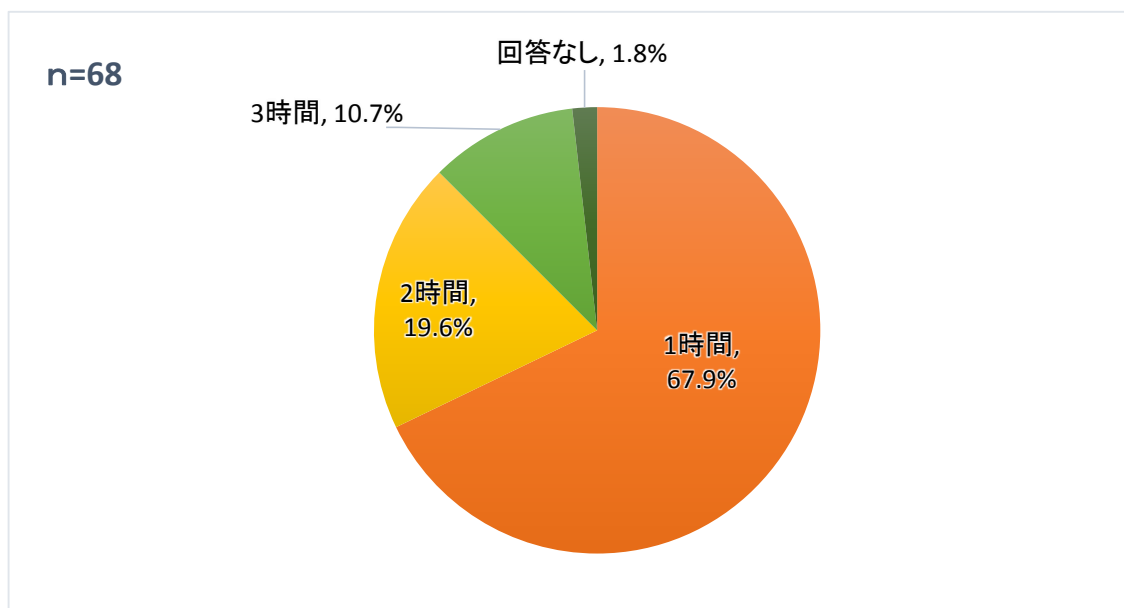
問3 茶の間の参加者の平均年齢を教えてください。



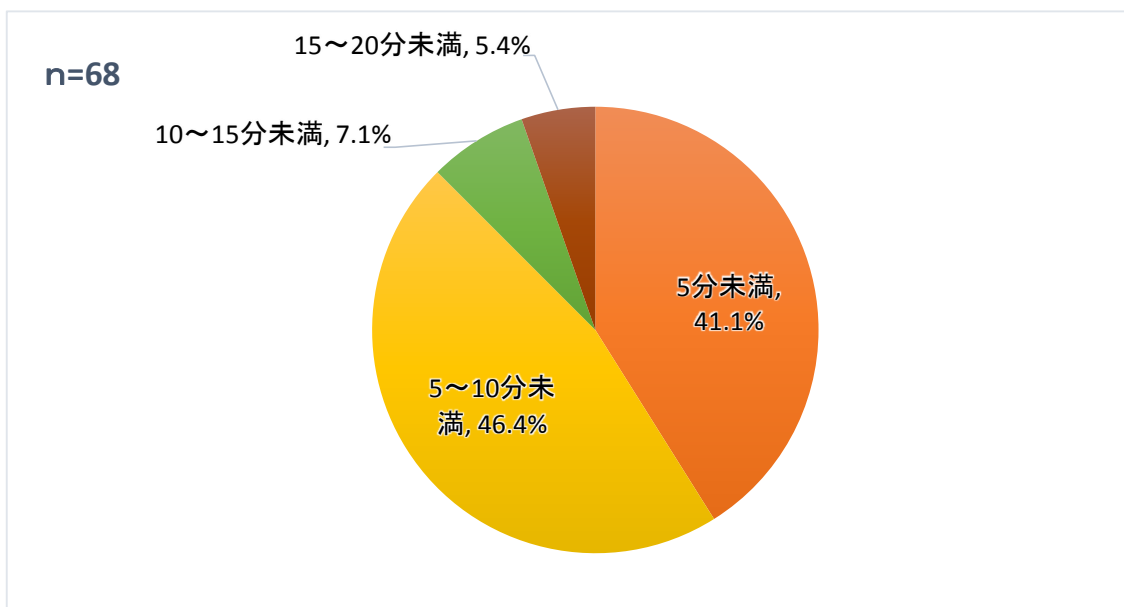
問4 茶の間を1回開催するための事前準備(打合せ、買い出し、資料作成、調べ物など)の平均回数を教えてください。



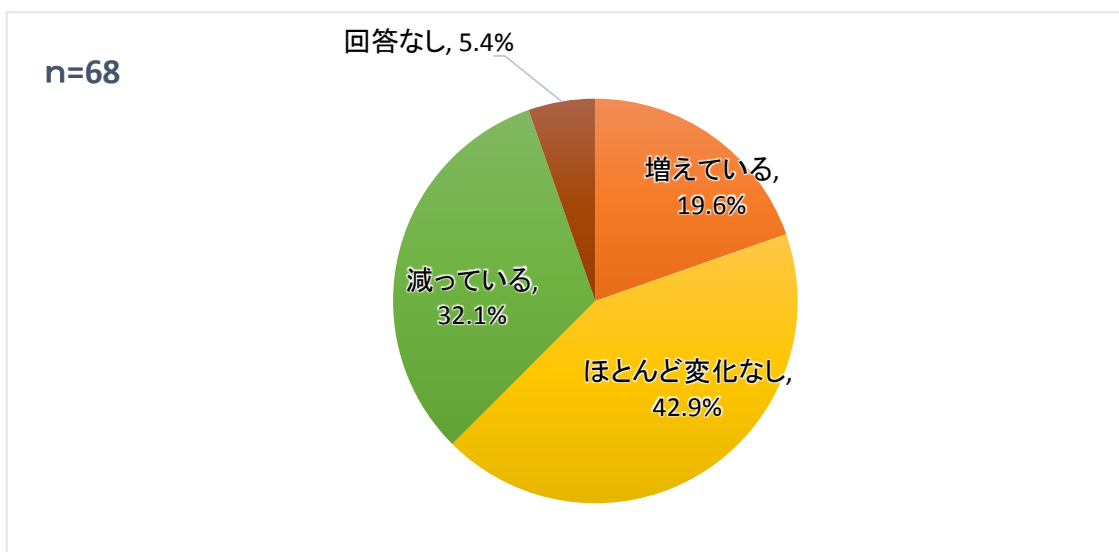
問5 茶の間当日の準備、片付け、反省会などに要する平均時間を教えてください。
※茶の間実施時間は含みません。



問6 自宅から茶の間会場まで、徒歩による片道移動時間を教えてください。



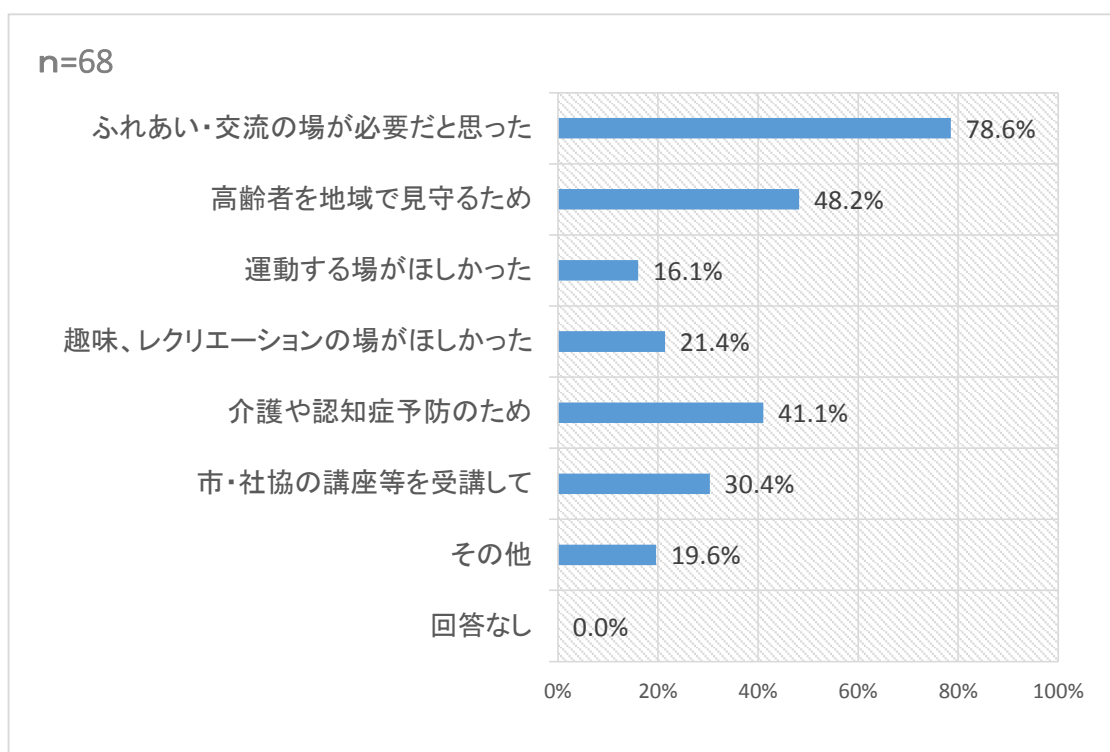
問7 茶の間開設時と比較した参加者数の変化を教えてください。



【理由】

・高齢化、参加呼び掛けない。
・その月の体調により来れたりこれなかったりで、新しい顔も見えるが、人数は増減していない。
・高齢者(80歳以上)が体調などで。
・冬場は15～20人と多い
・参加者が固定化している
・今まで参加していた人が高齢で参加出来ない。
・特別勧誘していないため
・以前に参加していた方(特に男性)が亡くなったり、デイサービスに通うようになったため。男性新規の参加者がいない。
・高齢化 3
・皆で体を動かしたり脳トレが楽しいから。
・会員の高齢化、病気などの長期欠席による。
・増えたり減ったり
・何もしないで気楽。お茶のみが楽しい。
・対象者が増えた
・前に参加した人が、また次の人に声をかけて増えていく。
・活動の種類が増えている。
・介護保険導入によりデイサービス等で地域に不在の人が出ている。
・回数が少ないので、皆楽しみに待っている。
・ご本人参加者の高齢化(足腰弱った)、ご主人の介護等

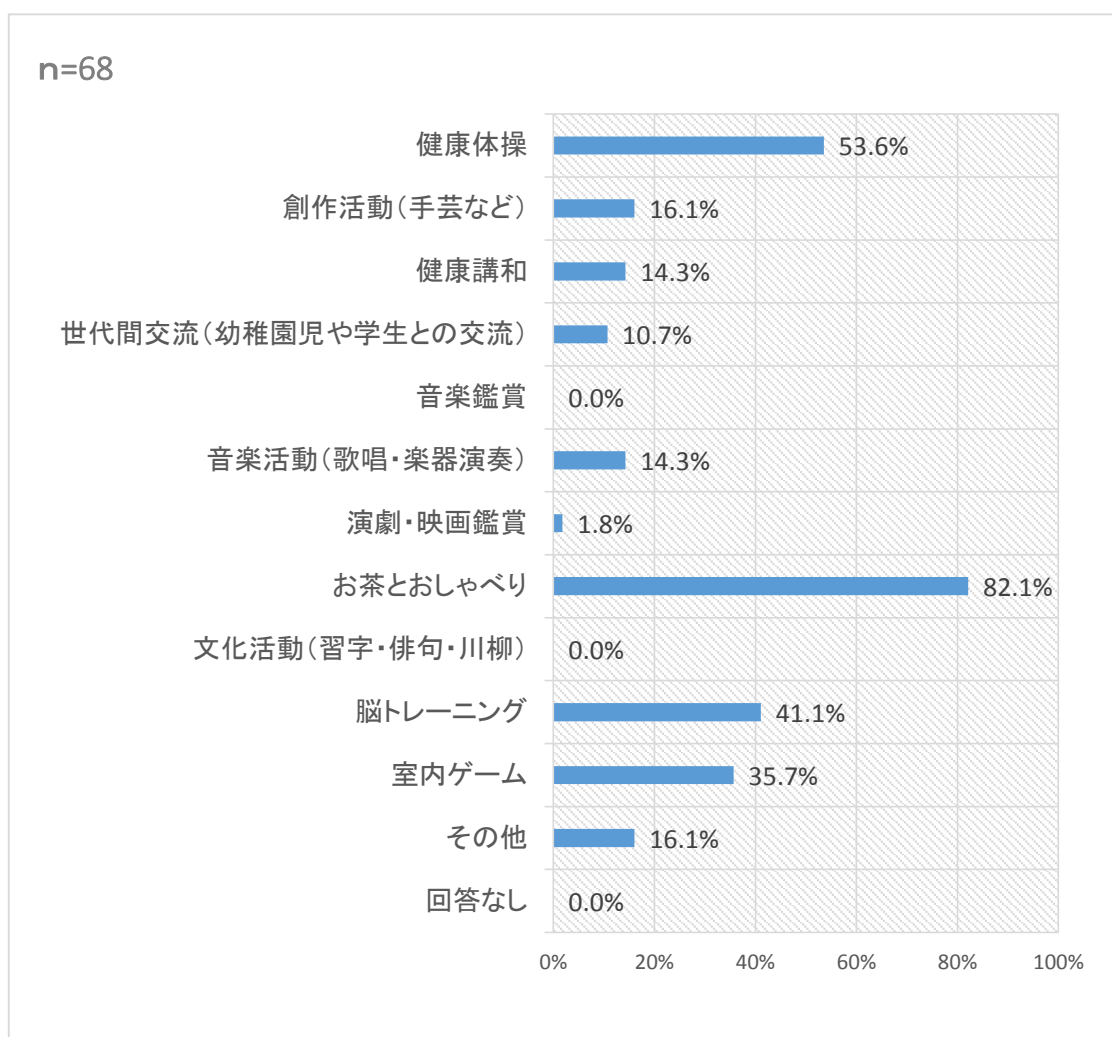
問8 茶の間を始めたきっかけを教えてください。(複数回答)



【その他】

- ・地域や年齢世代関係なく外になかなか出られない人を対象に。
- ・ボランティアの人に強く勧められ
- ・社協からの声かけ
- ・地域の情報を知ることが出来る。
- ・ミニ託老の継続として
- ・ミニ託老からの移行
- ・人に頼まれて。
- ・ミニ託老を引き継いだので
- ・市に進められて
- ・高齢時代に向けて何が始めなければ、という思いはありました。

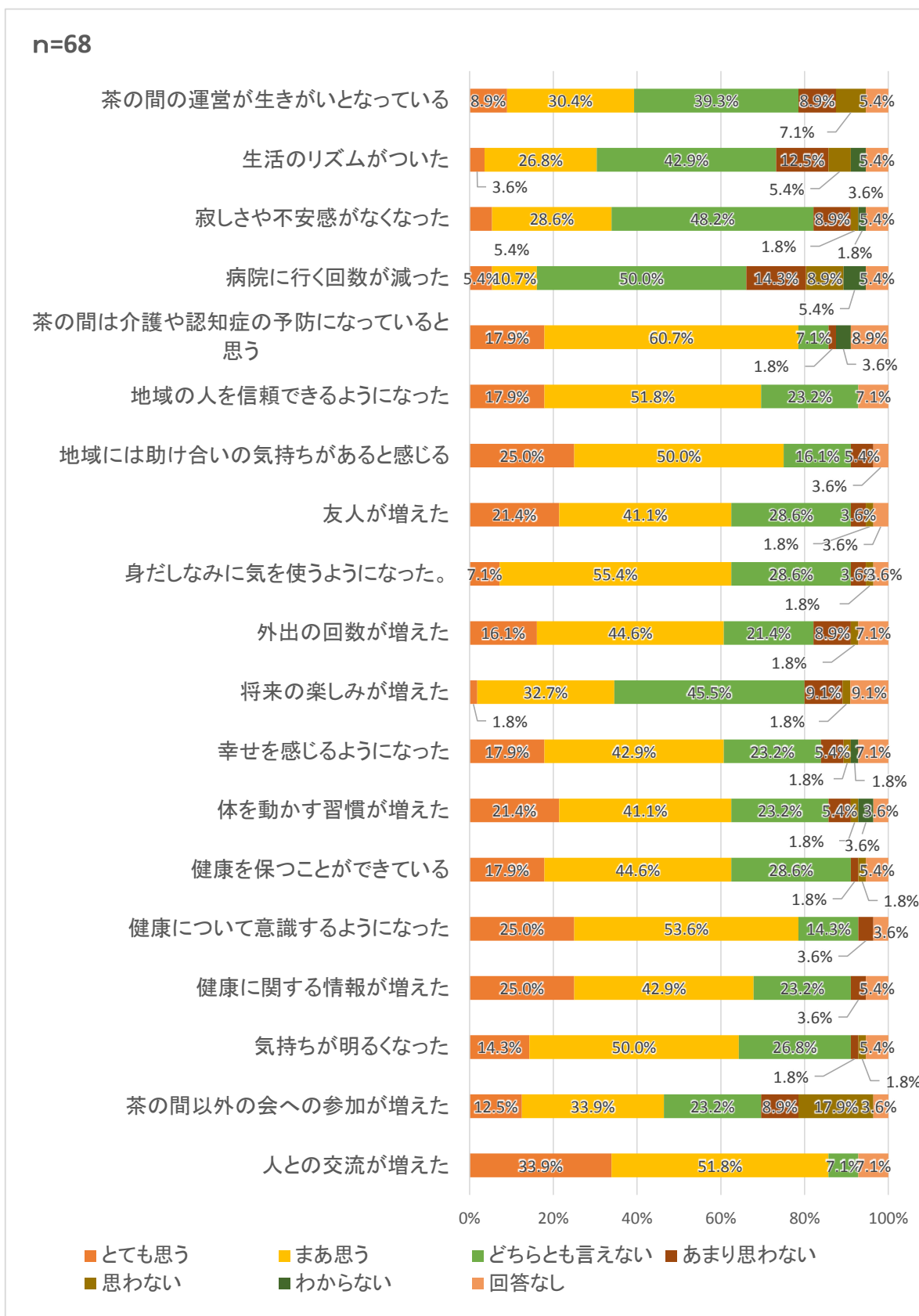
問9 茶の間のプログラムについて、頻度の高い内容を教えてください。(複数回答)



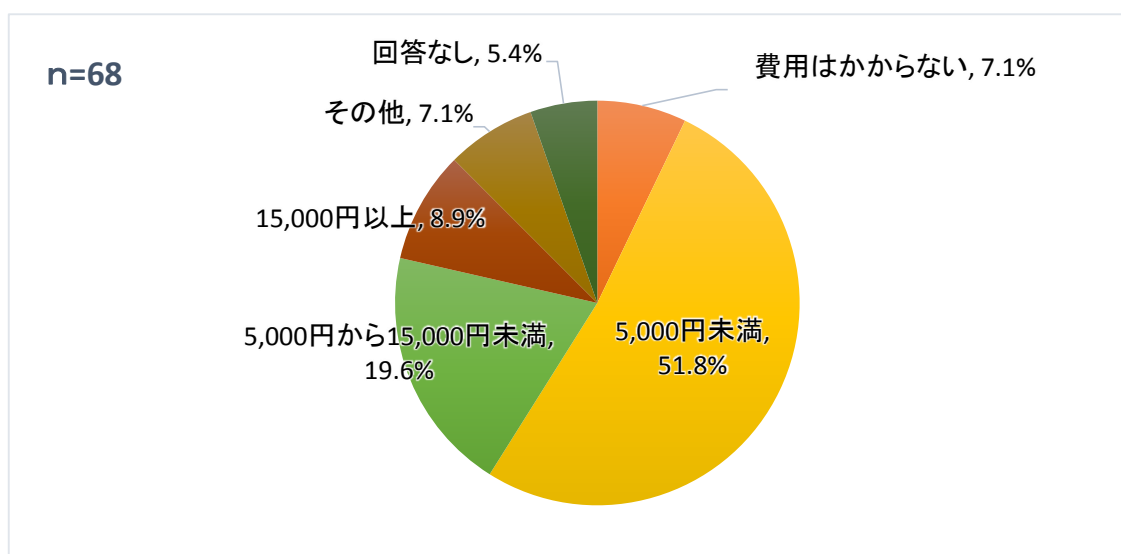
【その他】

- ・季節の行事を入れるようにしている。七夕、花見、運動会、クリスマス等
- ・マジックショー、昔語り、舞踊ショー
- ・火災予防についての講和
- ・ゲストを招く
- ・旅行
- ・昼食会
- ・ボランティアでゲスト依頼
- ・5月よりマレットゴルフを始めた。運動と親睦を深める。
- ・他グループがオカリナ・昔話・紙芝居・踊り等、芸を披露してくださいます。

問10 茶の間運営以前と比較して、現在あなたの中でどのような変化を感じていますか。



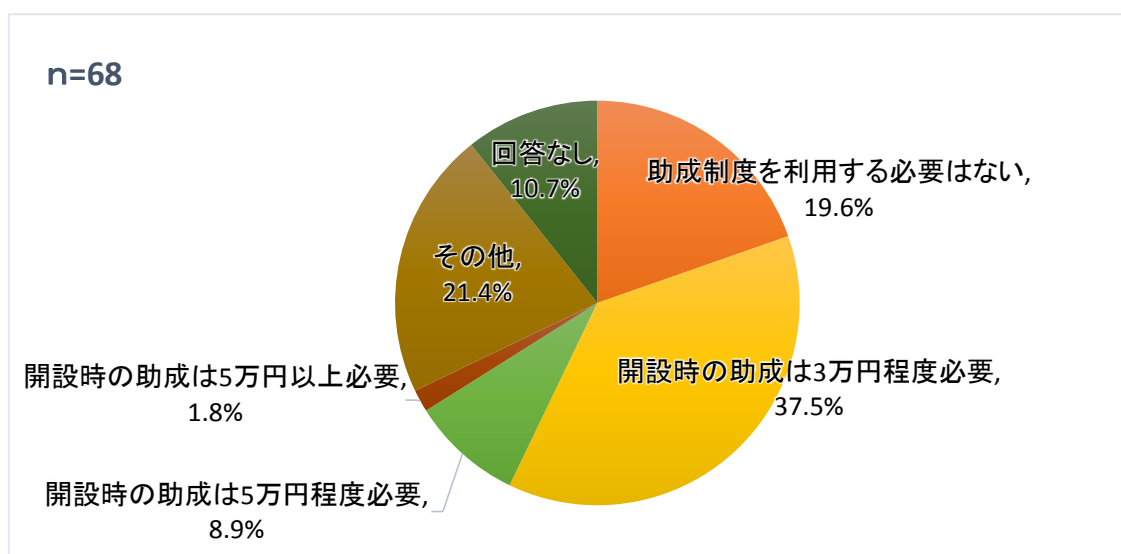
問11 茶の間1回開催あたりの必要な経費(会場使用料含む)について教えてください。



【その他】

- | |
|------------------|
| ・Eスポへ月1回7,000円 |
| ・参加者が多いため、3万円くらい |

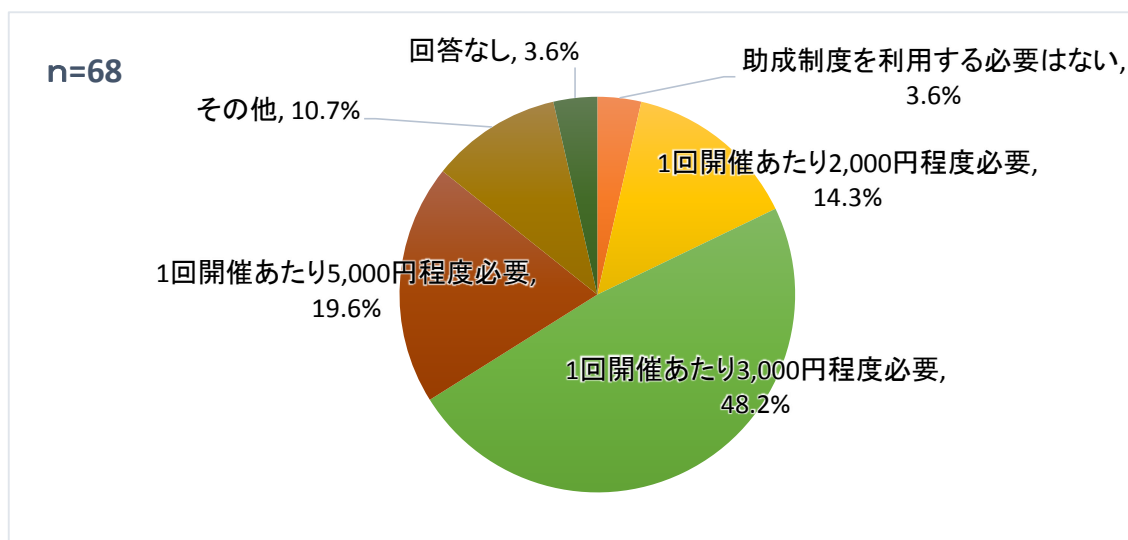
問12 茶の間を開設するのに助成金が必要かお考えを教えてください。



【その他】

・1万円程度
・月3,000円程度必要
・ここまで増えてきたので、今さら不要(平等性に反する)
・今のところ5千円位あったらいいかな
・わからない、場所と人さえ入れず、お金はかからないのでは。
・助成が少しあれば、クリスマス等に少し皆にケーキ等食べさせられる。
・どういう内容の会にするかによります。
・1万円
・今のままで良い
・会場その他の条件により違いますが、私共は呼び掛けのチラシ、プリント全て社協出させてい ただきましたので、開設のための助成は必要ありませんでした。
・集会所で開設したので不要だった。開設場所によっては開設資金が必要。

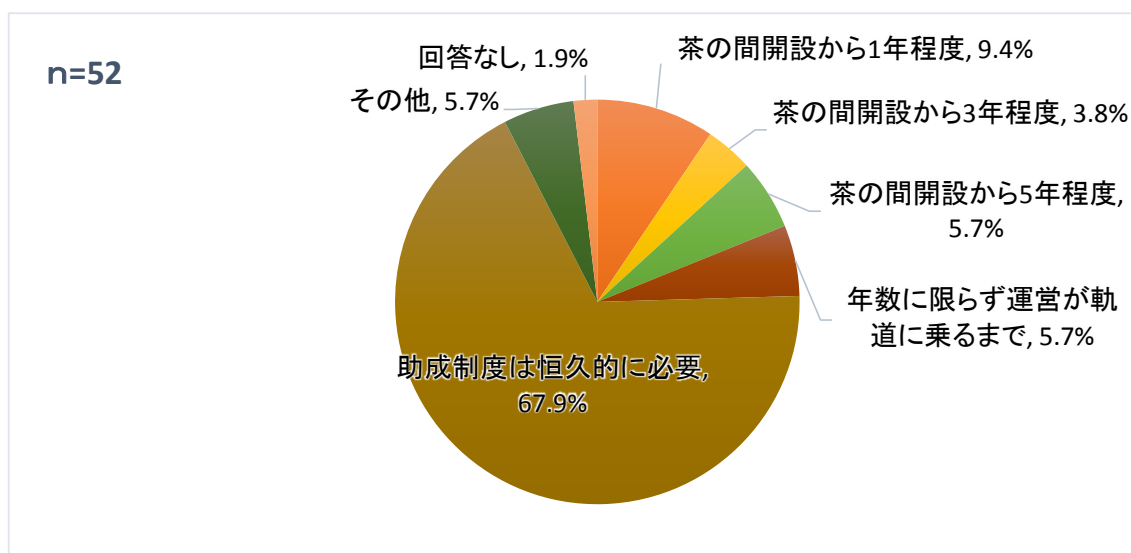
問13 助成制度の利用についてのお考えを教えてください。



【その他】

- ・助成金が多ければ会費が少なくて良いし、いろいろな催しができる。無償ボランティアさんを探すため。
- ・一回開催あたり1,000円程度必要
- ・利用できればありがたいが、現在、自治会からの補助があるため続けていけると思う。
- ・参加費より会費を取り、何とか昼食を出しています。皆さんの希望でやはり昼食を出しています。
- ・必要というより少し助成があればありがたい。(会費でやって行けるが)
- ・今までどおりで良いと思っています。

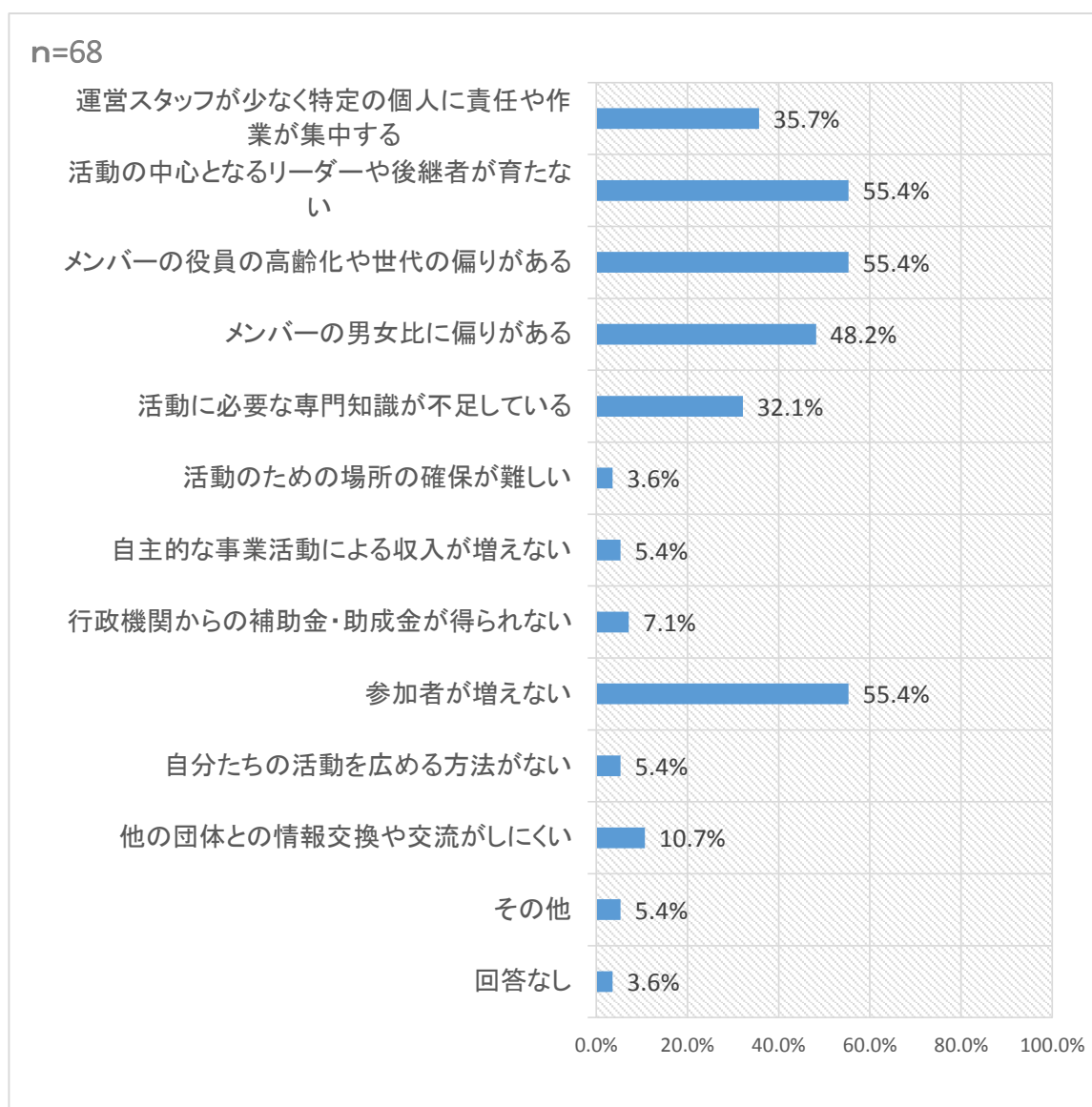
問14 問13で2～5を回答された方にお聞きします。継続運営のために必要な助成期間についてのお考えを教えてください。



【その他】

- ・助成金が少なくなった場合、参加者が減少しているので、まず継続するかどうか考えることになると思う。
- ・助成はあった方がありがたいです。

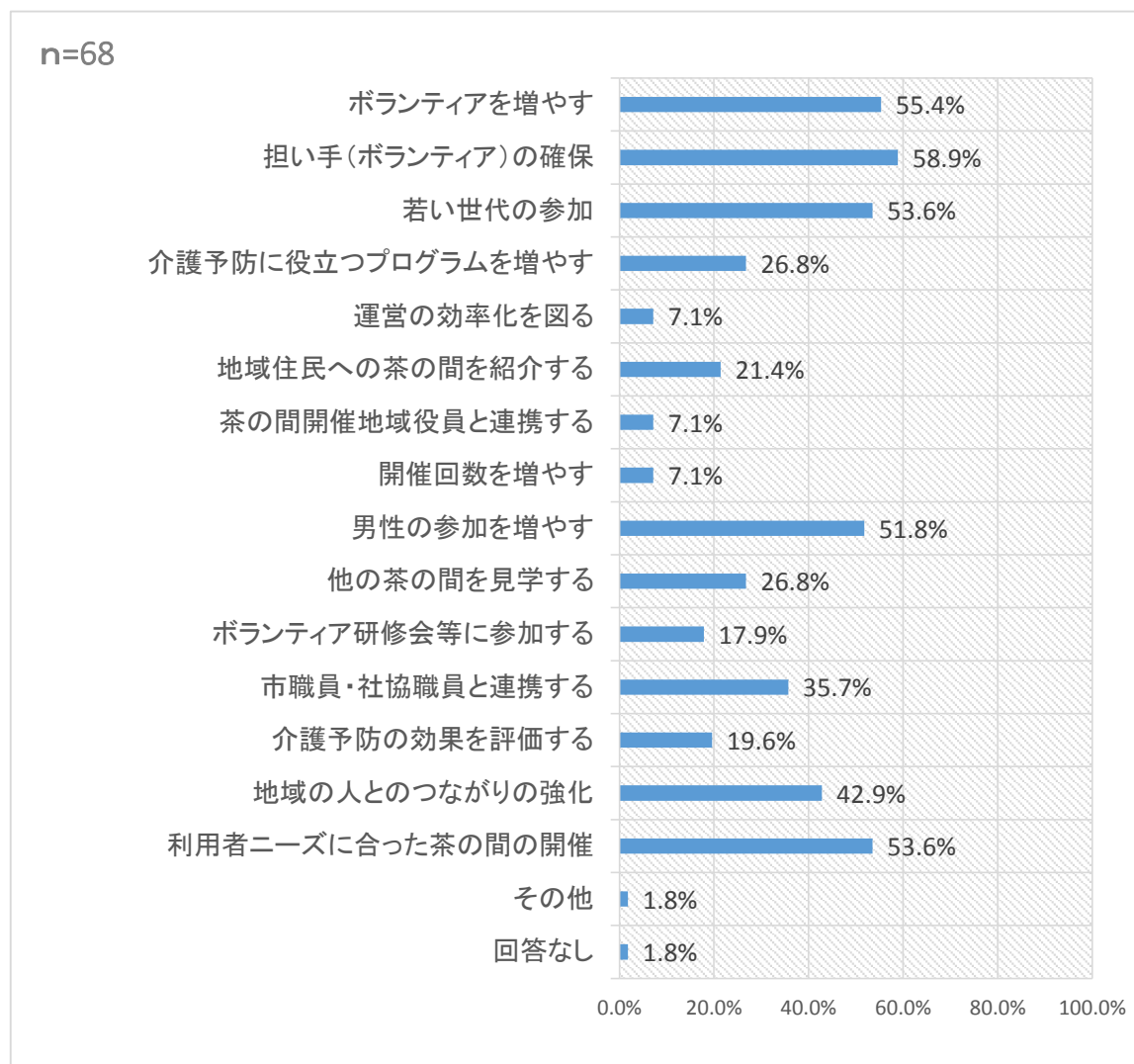
問15 茶の間の活動上の課題について教えてください。(複数回答)



【その他】

- ・地区(各旧町村)毎の世話人交流の場がない
- ・自宅に引きこもっている人を広場に参加できるようにしたい。
- ・活動場所の整備に助成してもらいたい。

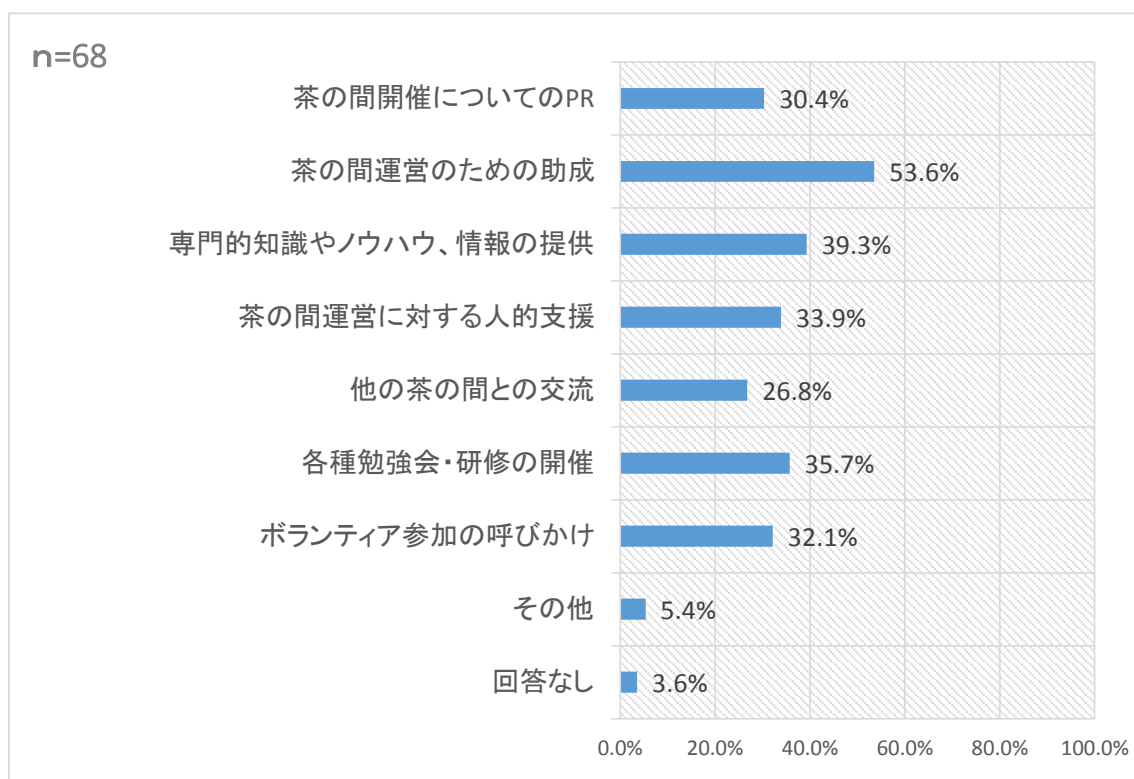
**問16 茶の間が今後も活発に活動するために必要だと思うことを教えてください。
(複数回答)**



【その他】

・旧町村単位に仮称「地域の茶の間連絡会」を年2回くらいあっても良いかも。

問17 今後の茶の間の継続的な運営に向けて、社会福祉協議会等に求めること、期待することを教えてください。（複数回答）



【その他】

- ・この様なアンケートではなく、実際に開催現場の出席者の生の声を聞かれるのも一つの手段かと…。勉強会や研修は必要なことと思いますが、強制っぽくならないことを願います。
- ・勉強、研修は短時間。お茶を飲みながらの話が一番の様子。
- ・参加人数が多くなり、お茶代をもっともらいたい。

問18 茶の間を運営する中で、日頃考えていたり、感じていることがあればご自由にお書きください。

・決った人達の集まりになり、誘ってもものってこない人は誰に言われてもダメのようです。10～15人を目指しがんばっているところです。
・4月から前代表から引継ぎをしたばかりで運営方法に難しさを感じています。参加者も「今のままで良い」と言ってくれますが……。この一年の様子を見ながら新しい事に挑戦したいと思っています。参加者に何かをやりたいと意欲が出るようになると良いと思います。一回一回が楽しかったと言ってもらえる会にしたいと思っています。参加者からの会費を少なくし、助成金がいっぱいあればとも思うし、お金がなくても他の事で楽しい事も出来るようであれば良い。ボランティア情報の中に、いろいろな講座のお誘いを入れていただきありがたいです。これからもよろしくお願い致します。
・参加者が増えない。男性がいない。毎度集まってくくださる方は同じである。ボランティアから参加者になればお互いに馴れ合って参加しやすいのではないかと思います。ボランティアばかり増えてもと考えます。参加者に対しボランティアは何人ぐらいでしょうか？
・いくらおしゃべりしても尽きないと思うが、今年度は軽体操・脳トレ・ゲーム等取り入れたい。
・いろいろ面倒なことはできません。今日はお茶会を……と考えているだけでいっぱいです。
・月2回くらいの開催が望ましいが、スタッフへの負担が多くなるので茶の間の内容を考えたい。お話をしお茶を飲むだけでなく、あそこへ行けば楽しいことがある、楽しく過ごせる、来て良かった、と思えるような内容を考えています。
・男性の参加者が極めて少ない、参加者がやや固定的になっている。参加費がゼロ(無料)の茶の間があるそうですが、収支の明細が知りたい。各茶の間の年間収支報告書を社協に提出すべしでさらに公開できれば良い。
・他の団体と交流したいけど、人数が多くなり大変だと思う。どうまとめたら良いか教えてください。
・私共の茶の間は当初から、ボランティア・スタッフは置かず、皆がスタッフを交代して(2～3人)でやっています。高齢の方が、会場に行ったり来たりが大変と、参加を止めた方も多くなっています。60代の方達に参加を求めているのですが、難しい。
・体操を中心にやっていますが、年々マンネリ化して同じ体操の繰り返しです。ストレッチ体操、脳トレゲームなど、新しい事を教えてもらえればありがたいです。5月30日から始まる「元気づくりサポーター養成講座」を楽しみにしています。
・出席者を一人でも多くと思っていますが、どうすれば良いか。教えてもらいたい。
・代表者の交替が望めず、人が変わることで内容も変化がみられると思うが、スタッフはそれを良しとしないこと。
・私は70代ですが、若い枝代の方から参加していただければありがたいと思います。
・助成金をもらうために必要な書類を書くのは分かりますが、もっと簡単にしてもらえるとありがたいです。代表者の負担が多すぎてなり手がいない。
・歳を取って、確認等が難しい。
・男性の方にも参加してもらうのが理想ですが、ハードルが高いです。会場の集会所はすべて2階です。高齢者に階段の上り下りは大変だと思うのですが、階下にする方法も考えられません。事故がない事を祈るのみです。代表とは名ばかりで、積極的な取り組みは一つもなく、惰性でやっている現状で、社協さんに頼りっぱなしで申し訳なく思います。
・誰しも健康でありたい、そう願っている日常の中で、体操、脳トレ等は手っ取り早く喜ばれることに繋がっています。そんな中で、専門的な資格をもった指導員の方から、せめて年2～3回おいでいただきたいのですが……。経費も掛かことでしょうか？こういう取り組みを市でやっていただけるとありがたいです。健康への関心も高まっていくことと思います。これまでいただいたご支援もとてもありがたく、感謝しております。

・小生が今だ会社勤めをしているため、市の支援員様のお世話になって運営しているのが現状です。いろいろなプログラムを組んでもらっていて、参加者は楽しいようです。引き続きご指導をいただかないといけないと思うと心苦しいですが、自立まで社協殿共々よろしくお願いしたいと思っています。
・まだ始まったばかりなので、なかなか集まりが悪いと思います。(老人会でも)
・以前からミニ託老、配食などのボランティアが活発な地域で、私はボランティアは7年目になるが、ミニ託老と茶の間は名前が変わっただけで、実質はほとんど変わっていないと思う。本来の茶の間の様に、回数を増やして誰でも参加出来るようになれば良いが、移行が難しい。スタッフでの打合せでも変えたいという人もあるが、結局現状維持となっている。(畑で忙しい、昼食がないと人が来ない、若い人が来ると年寄りはずらい等)。茶の間のリーダーもボランティアの班長が2年交替ですするため、リーダーとしての意識が低い(私)と思う。茶の間のリーダーとして継続してくれる人がいると良いが、負担も大きいかなと思う。スタッフも高齢者が多くなり、参加者との年齢が同じになってきている。参加者、スタッフとあまり意識せずに、楽しく続けて行けたら良いと感じています。
・自主的に集まった活動団体と違って、社協から押し付け的に運営している感がボランティアの意識となっている町内なので、何とかして意識を変えたいと思っていますが、なかなか通じないのが現状です。元々商店が多いので、いくつになっても店の仕事から手を離せなく、思うように自由に出かけられない人が多いので、仕方のない事かと思えます。また、軒数も減って、人口も少なくなっている町内なので、運営には四苦八苦しています。ボランティアの限界を痛感します。
・80歳以上の人は、足腰の悪い人が多いため、二階の広い所で運動をすることが出来ないため、狭い部屋で頭の体操をしています。昔話をお願いしたりと考えています。
・参加者の自主性を芽生えさせることがなかなかできない(もともとお客様といて参加してもらっていたので、変えることが難しい)。もっと自主的に動いてくれるスタッフがいると運営側が助かる。平均年齢が80歳という会なので、もう少し若い年代の人が入ってくると良いが、地域には他に茶の間があるので難しい。社協の方が地域に来てもらい、他の茶の間と合同でレクリエーション等やれると良いと思う。
・年に1～2回は、地区外に出る事業をやりたいが、移動する手段がない。社協や市でバスを貸してくれたら「いいな」と思っています。
・楽しい会でなければ、だんだんと欠席が増えると思うので、今日は良かった、楽しかった、と皆に喜んでもらえるように、と考えています。役員(進行係)だけでなく、参加している方も次回までに健康に関する情報や話題があったら発表してもらおうようにしていると、参加者意識も高まるようです。マナーにならないように、体操の他に、脳トレにも力を入れています。高齢になり、皆が認知症を心配しているようで、喜ばれています。
・私達の会は、開催場所が近くにあり、老人会の会員を中心に実施しており、恵まれていると思いますが、同年代のほかの地区の方からうらやましがられております。このような茶の間会への支援等知らない方も多くあると思いますので、もっと多くの方に知らせる必要があると思います。現在は老人会の婦人部を中心にやっておりますが、病気等により、出席できない方が出て来たり、なかなか大勢の方が出席できない日が多く残念です。少しでも参加して良かった、楽しかった、と思われるよう今後も努力して行こうと思っています。
・社協、包括支援センター(役所関係)がもう少し横の連絡を取り合って対応していただけるとありがたい(脳トレ、お茶の間等混同している人が多い)。
・健康体操で元気、脳トレーニング、室内ゲームで明日の活力を。
・利用者ニーズがいろいろです。特にうわさ話が好きな方は、茶の間の雰囲気を変えがちです。この点でのボランティア意識向上はハードルが高いのかな、と悩みます。内容が体操(Eスポ)の時は、動きの中で会話・笑いが出て安心です。現在は参加者の現状から、目的に向かって各人が取り組んでいると思います。老人会の参加者が減って、茶の間の存在を批判する方もおります。それぞれの意思で参加されれば良いと思うのですが、社協の全体像の中で、存在意義をPRしていただきたいです。

・参加者が亡くなったり、病気等で来れなくなってだんだんと減ってきて、継続の危機を感じていると共に、参加者は女性のみで、家にこもりがちな男性の方がより集まりが必要なのではないかと思っている。でも積極的になれない。又、女性同士でも、あの人が居れば私は行きたくない、等の声もあるようである。何も考えないで、来てくれそうな人に積極的に声をかけてみるしかないのか…。
・まだ数回しかやっていないので、何をどうすれば良いかわかっていない。高齢者だけでなく子供から年齢を問わず、誰でも気楽に参加出来るように始めたので、幅が広くスタッフも次回は何をやろうか考えさせられます。
・あまり体を動かすことは好まないように思う。お茶をのみ、おしゃべりすることが楽しいみたいに感じます。春の花見弁当とクリスマスのケーキも楽しみにしているようで、その月には人数も多くなります。会議とかにあまり出席出来ませんので、よろしく願いいたします。
・高齢化が進み、体操関係等、体を動かすことが出来ない。
・参加者が多く、楽しい会になっていて、カラオケや生オケの歌と、皆さん参加を楽しみにしてくれれます。冬の間は、足元が悪いので休みですが、春になると、皆さん元気になるようです。会場がバリアフリーになっていれば、イスでテーブルで、と思うことはあるのですが、今までの公民館で茶の間をやっています。足が痛い人はだんだん来れなくなっているのは確かです。
・90歳近くの方が多いので、お茶をしているだけで満足のようなようです。助成があるので、何も持参しなくて良いのが魅力。もう少し60代の方が多ければと思うが、まだ皆忙しいようで。夏場になると、畑とか山菜の関係で忙しいため、なかなか人数が集まらない。今から後継者を探しているが、なかなかボランティアしてくれる人がいない。
・時にないですが、日々の中で話し合いを持っております。スタッフ間の意志の疎通が大切と思っております。
・私は自分も参加者と思っております。来られる方々に喜んでもらえて自分も地域の人やボランティアの仲間と会えて楽しくやらせてもらっています。皆さんに感謝です。
・支援策については、十分良くしてもらっていると思います。茶の間を始めた当時は保育所もあり、子供達との交流もしましたし、私達も若かったので張り切ってやって来ましたが、当時の参加者は全員いなくなりました。私達も高齢になり、仲間との絆も深まっていますので、活動を始めたことは良かったと思っています。あとは自然な形で参加者へ異動出来ればと思っております。私達より少し上の年代は、ひたすら働くことが趣味的な時代でしたので、人の中に出て行くことが苦手な高齢者も多いのです。そういう人達にこそ茶の間に来て欲しいと思っているのですが、足腰の問題もあり、難しい所です。集落の理解もあり、皆さん楽しんでやっています。
・リーダーのなり手がなく困っている。男性の参加が少なく、活動内容の工夫が必要。世代間の温度差があり、難しい。
・集落も高齢化率が進み、38%となりました。世帯も跡取りがなくまた子供が外に家庭を持ち、年寄り世帯だけが多くなっています。時代の流れと言えはそれで終わりですが、ふれあいの場を作り親睦を深めて安心して住める集落になればと思っています。そんな中で、昨年社会福祉協議会様の茶の間会を知り、茶の間を作らせていただきました。お茶代の補助、講演会の支援、障害保険加入と温かい公的な支援をいただき感謝しています。これから必要なのは、末端の高齢者が集う場・知識を得る機会を集落に整備することだと思います。集落には公民館に温泉風呂があります。温泉に入ったあと、茶の間室で、血圧等測り、健康管理と親睦を深める場を充実させたいと思っています。また高齢者が出来るマレットゴルフ場を作りました。休憩所の整備を社会福祉協議会様に支援をいただければと思います。集落に語り寄り添う場所の整備に支援いただきたい。
・今活動している私達を茶の間のスタッフとして引っ張ってくれ、高齢者の見守りや支援を指導してくれた先輩も80歳になり認知の兆候も現れています。そして今茶の間の参加者となって楽しんでくれています。あたりまえですが「人間は老いるもの」です。自分達はその年齢になったとき、年数回で良いですが、気兼ねなく集まれる場所があったら嬉しいと思いながら、そのためにはリーダーや後継者を育てることが必要と思っておりますが、実はそれが一番難しいかなとも思います。

・現在のところ、80歳以上の方を招待するだけで精一杯ですが、高齢化が進み、体調の変化や認知症が進む人もあり、今年になって町内で5人も亡くなりました。本当に寂しい限りです。家庭内での気まずさを感じたり、心地よい居場所を求める人も少なくありません。少ない回数でも「茶の間」に出席出来る人はまだ良いのですが（平常でも何らかの形で接触できる人）、家から出られず一人で時間を過ごしている人への手立てはないものかと…。

・オカリナやマジック、踊り等、全くボランティアで演じてくださる方々のおかげ様で続けることが出来、本当にありがたいと感謝いたしております。「縁側でお茶のみ」が環境の変化等で出来なくなった現在、ゆっくりとおしゃべりをしてお茶を飲むそんな場を提供できればと思い、あまり固いことは考えずに参りました。でも皆さん「100円持って気楽に来られて楽しみにしてるてー」と言ってくさるので、ボランティアの方も一緒に楽しませていただいております。交通安全、オレオレ詐欺等もおかげ様で学ばせていただいております。運営とか効率とかどうあるべきかは社協さんでまた教えてください。どうぞよろしくお願いいたします。

・集落内にはカフェもコンビニにも無い。常設カフェがあったらと思うのですが、今のところそのような環境にない（施設も人の意識も）。高齢男性と80代以降の高齢者の茶の間への参加を何とかしたい。要介護状態になるまで自宅に留まる傾向がある。